

INDEX

組合員と生協とが会う「場所」

巻頭言

なぜヒトは他人を助け、協力しようとするのか……川合 伸幸 1

争論 インターネットはどんな「つながり」を紡ぐのか？……2

01 インターネットが築く社会関係資本の課題と展望……柴内 康文 3

02 ネットが深めた「つながり」の問題と今後への期待……土井 隆義 11

特集 組合員と生協とが会う「場所」……19

01 「組合員の声を聞き、活かす」ネットでの仕組み作りに向けて

生活協同組合の現状と課題……茂木 伸久 20

02 「紙」だけではできない多様化への挑戦

～インターネットを利用したコープこうべの取り組み……竹野 豊 27

03 個人向け事業構築とつながりづくりの模索……高橋 宏通 32

04 職員の声を組合員へ届ける「担当者ニュース」の現在

～おおさかパルコープにおける事例……加賀美 太記 38

くらしと協同をたずねて

01 ソーシャルメディアを活用した新しい「つながり」と「おもしろそう」の創造……下門 直人 44

書評

01 『一緒にいてもスマホ』シェリー・タークル 著 日暮雅通 訳……元橋 利恵 50

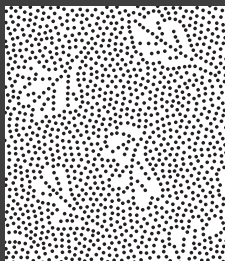
02 『インターネットは流通と社会をどう変えたか』

阿部 真也 江上 哲 吉村 純一 大野 哲明 編著……堀川宣和 52

投稿規程…… 54

バックナンバー／編集後記…… 55

小
紋
撰
趣



表紙紋様「地落ち菊の葉」

菊は2千年以上前から薬用や食用として栽培されていました。日本へは奈良時代に伝わり、平安時代以降に上流階級の間では重陽の節句など楽しまれていましたが、安土桃山時代から江戸時代にかけて庶民の間に普及し、多くの品種が生み出されました。菊の花は非常に好まれたモチーフですが、この文様には葉だけが使われています。しかもこの葉はところどころに虫食いが見られたり、破れていたりと同じ形のものがありません。それは不揃い、不完全を美とした日本独特の思想の表れと言えるのではないのでしょうか。

田内隆司／京小紋画像提供（田内設計事務所）